学校番号	408

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	文学国語	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書	「新　文学国語」　（三省堂）						
副教材等	「書いて覚えて実践する高校生の語彙と漢字　ゴイカン」　（桐原書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業中は三つの対話（教材との対話・自分との対話・他者との対話）に取り組みましょう。
・失敗や間違いこそ大事な学びです。普段の授業は練習試合、一緒に学ぶクラスメイトはライバルであり、チームメイトでもあります。協働しながら、学びを深めていきましょう。
・学んでいったことから、更に自ら問いを立てながら、学びを広げていきましょう。読書は皆さんの世界を広げるための大きな手段となります。
・授業の中のみならず、皆さんの周りにある普段の「言葉」から意識を向けてみましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
　我が国の歴史の中で継承されてきた言語文化の持つ価値に気づき、常用漢字を読み書きし、実社会に必要な語句や語彙を増やし、文章の効果的な組み立てや接続の仕方、修辞を意識して表現に活かすことができる。
【思考力、判断力、表現力等】
　読み手の関心をひく、独創的な言語表現ができるようになり、文章の特徴を的確にとらえたり評価したりしながら、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、解釈や想像を、また、ものの見方や考え方、感じ方を深めることができる。
【学びに向かう力、人間性等】
　国語の学びを通して、他者のさまざまな読み取りや考えがあること、言葉の持つ価値への認識を深め、読書に親しみながら、深められた自らの考えをより的確に伝達しようとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	我が国の歴史の中で継承されてきた言語文化の持つ価値に気づき、常用漢字を読み書きし、実社会に必要な語句や語彙を増やし、文章の効果的な組み立てや接続の仕方、修辞を意識して表現に活かすことができている。	読み手の関心をひく、独創的な言語表現ができるようになり、文章の特徴を的確にとらえたり評価したりしながら、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、解釈や想像を、また、ものの見方や考え方、感じ方を深めることができている。	国語の学びを通して、他者のさまざまな読み取りや考えがあること、言葉の持つ価値への認識を深め、読書に親しみながら、深められた自らの考えをより的確に伝達しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	単元1 文学の言葉を感じ取る ［教材］二十億光年の孤独、虹の雌雄等	a：語句や語彙の量を増やし、想像や心情を豊かにする言葉の働きを理解している。 b[読]：設定した題材に関連する複数の作品を集め、ものの見方、感じ方、考え方を深めることができている。 c：文学の言葉について考えを主体的に深めようとしている。	定期考査	定期考査 パフォーマンス課題	学びの地図 パフォーマンス課題
	単元2 解釈の多様性を楽しむ ［教材］予感、雉始雊等	a：語句や語彙の量を増やし、文体など作品の構造について理解を深めている。 b[読]：文章の構成や展開を評価しながら、解釈の多様性について考察できている。 c：他者の考えを踏まえて、文学の解釈について考えを主体的に深めようとしている。	定期考査	定期考査 パフォーマンス課題	学びの地図 パフォーマンス課題
	単元3 みんなでつなぐリレー小説 ［教材］冒頭書き出し例集	a：語句や語彙の量を増やし、文学的な文章における文体の特徴について理解している。 b[書]：文章の構成を意識しながら、文体の特徴などを配慮して書くことができている。 c：独創的な言語表現となるよう、主体的に工夫しようとしている。	定期考査	パフォーマンス課題	学びの地図 パフォーマンス課題
二学期	単元4 心情の表現に読みひたる ［教材］山月記、デューク等	a：情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増やし、文章の種類や特徴について理解を深めている。 b[読]：内容や構成、展開などを的確にとらえたうえで、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 c：他者と協働しながら、作品の価値について考えを主体的に深め、伝達しようとしている。	定期考査	定期考査 パフォーマンス課題	学びの地図 パフォーマンス課題
	単元5 作家のストラテジーを読み解く ［教材］少年という名前のメカ、バースデイ・ガール等	a：語句や語彙の量を増やし、文体の特徴や修辞などの表現の技法について理解を深めている。 b[読]：作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品の成立背景や他の作品との関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。 c：他者と協働しながら、作家のストラテジーについて考えを主体的に深め、伝達しようとしている。	定期考査	定期考査 パフォーマンス課題	学びの地図 パフォーマンス課題
	単元6 史実と虚構 ［教材］項羽と劉邦―「史記」を読む	a：情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増やしている。 b[書]：題材に応じて情報を収集、整理して、表現したいことを明確にしている。 c：他者と協働しながら、独創的な言語表現となるよう、主体的に工夫しようとしている。	定期考査	パフォーマンス課題	学びの地図 パフォーマンス課題
三学期	単元7 想像からの語り ［教材］未知へ、夕焼け、売炭翁等	a：情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増やし、表現に活かせている。 b[書]：展開や表現の仕方を工夫しながら創作したものを吟味したり、読み手の助言を踏まえて捉え直したりしている。 c：他者と協働しながら、独創的な言語表現となるよう、主体的に工夫しようとしている。	定期考査	パフォーマンス課題	学びの地図 パフォーマンス課題
	単元8 表現の意味を捉え直す ［教材］こころ等	a：語句や語彙の量を増やし、読書の意義と効用について理解を深めている。 b[読]：作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めること。 c：他者と協働しながら、文学の価値について考えを主体的に深め、伝達しようとしている。	定期考査	定期考査 パフォーマンス課題	学びの地図 パフォーマンス課題

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・書くこと　…　（　２５　）時間

・読むこと　…　（　８０　）時間